

KINDAI KENCHIKU

近代建築

December

Vol.78
2024

12

特集 シニアライフデザイン

有料老人ホーム オリーブ・門戸厄神 (リハビリ特化型ナーシングホーム)

兵庫県西宮市

設計・監理/ラフト
デザイン監修/プランニングワーク
施工/栗本建設工業



北東側外観

設計主旨

建設地は、多世代が憩いの時を過ごす武庫川河川敷緑地に隣接する閑静な住宅地となっている。また、関西で有数の開運厄除寺「門戸厄神」周辺に位置し、江戸時代には西国街道と称された国道171号沿いの歴史ある地域である。

本計画は、介護およびパーキンソン病患者をサポートできる施設として、事業主とヒアリングを交わしながら各仕様を計画に落とし込んだ。

東西を市道に接する正方形に近い敷地形状に沿って建物ボリュームを計画、外壁三面に計画したバルコニーには、リズムカルに縦ルーバーをあしらひ、通りに面して変化を感じ取れる意匠計画とした。

内部計画は、1階を事務管理部門や調理部門のほか、入所者の活動空間となる機能訓練室、浴室を計画。機能訓練室、浴室は外部に面して大きく開口部を設けるとともに植栽帯を計画し、訓練の合間時間や入浴時に

緑を感じ取り、リラックスできる空間となるよう配慮した。入所者の居住スペースは2～5階、各階4ユニットにて構成されており、階ごとに設けたユニットにより明確で安全なセキュリティ区分の形成、また、スタッフの負担軽減への対応とした。平面計画として、入所者の居室を東西接道面に計画することで自然光を大きく確保でき、北面に談話スペースを配置し安定した柔らかな光を享受できる住空間とした。

(谷口友佳子/ラフト)



アプローチ



北東側外観夕景

デザイン主旨

内部デザイン計画は、大正から昭和時代にかけて「阪神間モダニズム」と呼ばれる西洋文化の影響を受けている地域であることを加味し、着飾らない・温かみを感じ取れる欧州の田舎街での暮らしを感じとれる『COUNTRY HOUSE』をコンセプトに掲げた。具体的に

は、1階エントランス待合空間の壁に天然石を乱貼し、石の質感を感じ取れる計画とした。また、木目調の仕上材を採用し、植栽を各所に配置することで、ナチュラル感と温もりを身近に感じられる空間とした。本施設が、パーキンソン患者も入居する老人ホームであることから、施設全体の床面に

は、横断歩道のようなアクセントボーダーを歩行に合わせたピッチで配置し、パーキンソン患者が歩きやすい計画とした。また、内装物品によっては幻覚症状が起きるデザインもあることから、幻覚を与えないような物品選定を行った。



5階平面図



4階平面図



2・3階平面図



配置・1階平面図 縮尺 1/600



エントランスホール



エレベーターホール



1階ラウンジ



2階リビングダイニング



大浴室



リハビリ室



左上/更衣室前廊下 右上/機械浴場 左下/各階入居者用廊下 右下/アプローチサイン

施工計画

当施設は、武庫川近くの豊かな自然環境、交通の利便性、そして快適な住環境が整った計画地に位置する。事業主の強い思いが込められた建物であり、パーキンソン病への対応、コロナ禍を経た感染症対策にも配慮している。

老人ホームはどちらかと言えば暗いイメージになりがちだが、当施設は入居者の終活を応援する設計・デザイン内容であったため、施工の際は細部まで検討し、最終的には入居者に喜んでいただける良い建物が完成したと自負している。

資材の納期については、大阪万博や半導体不足の影響により、動力電線の供給不足が懸念され、受電日の遅延が予想された。しかし、事業主をはじめとする関係者や設計監理の協力により、早期に発注を行った結果、契約工期内での竣工が実現できた。

(東野太郎/栗本建設工業)

有料老人ホーム オリーブ・門戸厄神 (リハビリ特化型ナースホーム) データ

所在地 兵庫県西宮市橋ノ口町2-2-20

主要用途 有料老人ホーム

建築主 株式会社スーパー・コート

設計・監理 ラフト

担当/総括: 海老澤一 建築・監理: 谷口友佳子

構造: 上野隆一

電気 Y2設備設計 担当/山本義明

設備 オフィスamal 担当/東尾隆司

デザイン監修 プランニングワーク 担当/松井友樹

施工 栗本建設工業

担当/東野太郎

設計期間 2022年7月~2023年1月

工事期間 2023年2月~2024年1月

[建築概要]

敷地面積 1,256.69㎡

建築面積 690.66㎡

延床面積 2,846.68㎡

構造規模 5造 地上5階

寸法 最高高さ/15.74m 軒高/15.38m 階高/1階3.35m、2~4階3.0m、5階2.98m 天井高さ/2.5m、2.4m 主なスパン/5.3m×6.3m

地域地区 第1種中高層住居専用地域

[施設概要]

利用人数 60名

居室種類 1人部屋60室、部屋面積18㎡

[設備概要]

電気設備 受電方式/高圧受電(3φ3W6,600V60Hz) 予備電源/屋外型ディーゼルエンジン発電機47kVA/44.9kW

空調設備 空調方式/空冷HP方式(共用部)、ルームエアコン(入居者用個室)

衛生設備 給水/受水槽方式 給湯/中央式(ガスマルチ給湯器)、一部電気温水器 排水/公共下水(汚水・雑排水合流方式)

防災設備 消火/スプリンクラー設備、補助放水設備、連結送水管設備、消火器 排煙/自然排煙

昇降機 寝台用15人乗、乗用13人乗

特殊設備 光触媒式空気清浄装置(共用部)、給水用浄水装置(全館用)、特殊入浴装置(車椅子用昇降式リフト2台)

【主な外部仕上り】

屋根 ウレタン塗膜防水(内断熱仕様)

外壁 天然石乱貼、石調タイル貼、黒磨タイル貼、複層塗材

E一部光触媒コーティング

建具 アルミサッシ

外構 アスファルト舗装、一部芝貼

【主な内部仕上り】

共用部 床/磁器質タイル、塩ビタイル、長尺塩ビシート

壁/磁器質タイル、天然石乱貼、ビニルクロス 天井/ビニルクロス

入居者用個室 床/木目調塩ビタイル 壁/ビニルクロス、エコカラット 天井/珪藻土塗装

大浴室 床/湿透性耐水畳マット 壁/木目調パネル、調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル

調湿珪藻土乱貼、黒磨タイル 天井/木目調パネル



谷口 友佳子……たにぐち ゆかこ
岐阜県生まれ。修成建設専門学校卒業後、とのま一級建築士事務所、豊和開発を経て、ラフト入社。現在、同社施設設計室チーフ



松井 友樹……まつい ともき
愛媛県生まれ。関西大学工学部建築学科卒業後、赤松野建築設計事務所を経て、プランニングワークを設立。現在、同社取締役

協力会社

電気設備工事	LED・TopJapan
型枠工事	力工務店
石工事	安藤大建
アルミ製建具工事	Y K A P
ガラス手摺・外壁ルーバー工事	京都日昭
厨房設計・厨房工事	タニコー
ユニットバス納入	清水ホームテクノ

有料老人ホーム オリーブ・南千里 (リハビリ特化型ナーシングホーム)

大阪府吹田市

設計・監理/ラフト
デザイン/松井氏
施工/東洋建設



北東側外観**

設計主旨

建設地は、大阪府吹田市の中心部から北西に位置する。商業施設が点在する賑わいのある「千里さくら通り」に面しているが、近隣は「千

里の竹林」が所々に残る静かな住宅街である。建物は、接道する千里さくら通りから幅員4～6.7mの傾斜路を約100m上った先にある高台の平地に計画した。そのため、接道部の賑やかな印象とは切り離され、竹林に囲まれた落ち着いた環境が保たれている。長い傾斜路を上る途中のアプローチには、施設名称にもなっているオリーブを景観の中心とし、高さのあるシンボルツリーと面の構成として列植したオリーブの小さな森を設けた。

設計主旨

1階は、管理エリア・リハビリエリア・入浴エリア・調理エリアで構成されている。エントランスに入るとサービスの中心となるコンシェルジュカウンターがあるが、グループが運営するホテルのノウハウが活かされた高機能なカウンターから提供されるサービスは、この施設が目指すホテルライクな有料老人ホームの要となっている。ラウンジに面して設けたリハビリ室はガラス間仕切りで視覚的な一体感を創出し、リハビリ



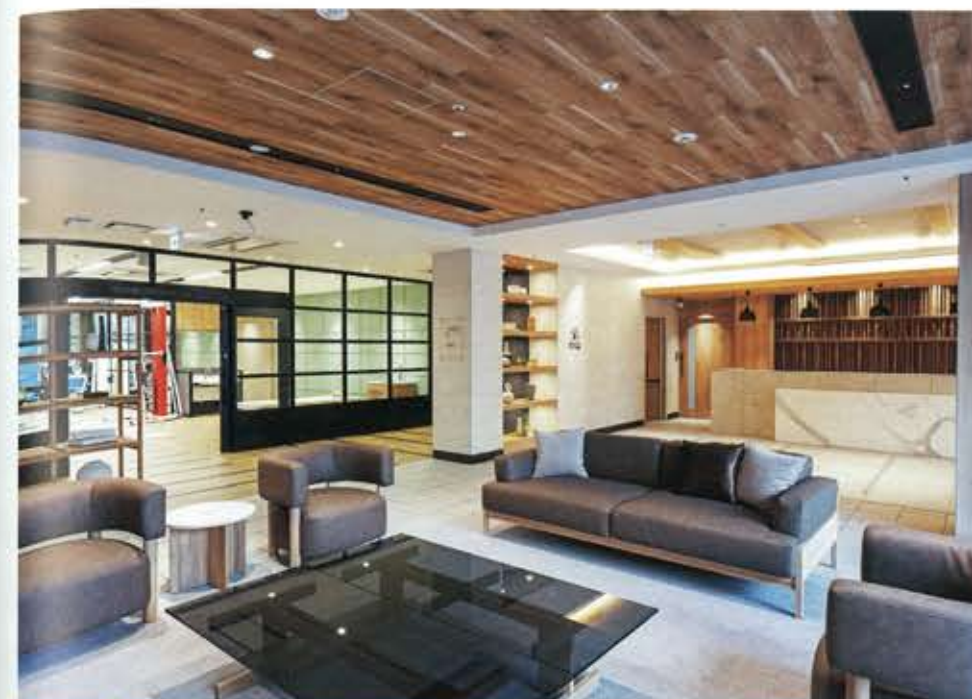
配置図 縮尺1/2,000



北側アプローチ



北西側外観**



左上/エントランス コンシェルジュカウンター 右上/エレベーターホール* 右中/1階ラウンジ*** 左下/2階リビングダイニング* 中下/2階エレベーターホール* 右下/各階入居者用居室***

室の外部に設けたガーデンリハビリも合わせ、奥行き感のある空間を演出している。管理エリアは本施設がリハビリ特化型ナーシングホームとして運営されるため、介護と看護の職員数を考慮した動線計画・面積計画を行うことで、日常的に専門医療を提供し、パーキンソンの病状を見守りやすい施設を目指した。入浴エリアでは、グループが運営するホテルから「天然温泉 秀吉ゆかりの湯」を取り寄せ本物の天然温泉に入浴できることを特色としている。パーキンソン病の入居者も天然温泉

をゆっくりと愉しめるよう車イス用昇降リフトを2台設置し、入浴する入居者全員が隣接する坪庭を望めるよう計画した。2～4階は、建物中央の管理エリアとリビングダイニングを中心に、T字型に入居室を構成して管理動線を極力短くできるように配慮した。建物中央の寝台エレベーターは入居者用と位置づけ、東側のエレベーターは両面使用のできる管理用とし、食事提供や職員が利用・管理しやすいセキュリティを施した。1階のラウンジやリハビリ室、各階のリビング

ダイニングには、光触媒空気清浄システムの採用、施設全館の上水は「MICA加工」によって分子活動が活性化した「健康イオン水」を利用できるよう浄水設備を設置している。内外のデザイン計画は、プランニングワーク松井氏による「COUNTRY HOUSE」をコンセプトとしている。着飾らない温かみのある、欧州の田舎街で暮らしているような印象を感じられるよう、天然石と木調仕上げとをアクセントとした温もりのあるデザインとしている。

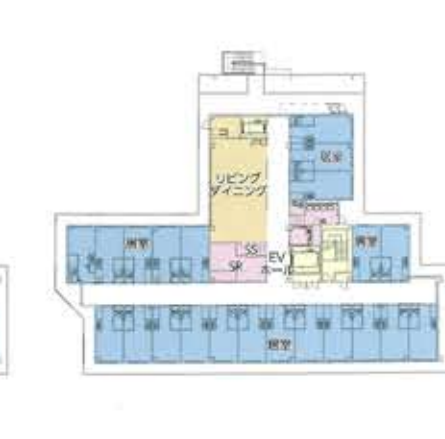
(海老澤一寛/ラフト)



1階平面図 縮尺1/800



2・3階平面図



4階平面図

特別養護老人ホーム せいりょう上甲子園

大阪府東大阪市

設計：松尾 / ラフト

デザイン監修：プランニングワーク

施工：森名建設



上／北西側外観夕景 右下／北西側アプローチ夕景 左下／北側アプローチ夕景

設計主旨

敷地は阪神電車久寿川駅から北へ徒歩10分に位置する。工業地域で工場や倉庫が多く残るなか、近接する国道2号附近の商業施設や西宮市内でも高級住宅地として人気の「七園」のひとつでもある甲子園区域として、道路の幅員や敷地が概ねゆったりとした閑静な住宅エリアの顔も持つ地域である。敷地西側には阪神高速道路西宮線が隣接し、高速道路からの視認性が高い立地でもある。

玄関は車寄せを設けながらも前面道路と風除室を視覚的・空間的に分けるため、間接照明を組み込んだ自然石乱張り仕上げの腰高進入防止壁を設けている。

1階は管理エリア、浴室などの共用エリア、ショートステイエリアで構成されている。エントランスホールは風除室からラウンジ、奥に設けた地域交流室まで一体的な広がりを持たせながらも、それぞれのスペースで空間的なまとまりが保てるよう、デザインパーティションやガラス間仕切りを設置している。地域交流室は日常的に地域住民・入居者・職員のコミュニケーションの場となるようカフェのようなドリンクコーナーを設け、ゆったりとした時間を過ごしてもらえる計画とした。管理事務室は閉鎖的な空間とならないようエントランスホールとはカウンターのみで区切ったオープンエリアと個人情報を取り扱うセミ

オープンエリアで構成している。エントランスホールに隣接させてショートステイ10室1ユニットと共同生活室を設け、デッキテラスを介して坪庭を望むことのできる安らぎのある空間としている。

2～5階は入居エリアとなっているが、敷地形状が東西に長いので、建物中央にエレベーター2基を有する玄関エリアを設け、東に10室1ユニット、西に10室1ユニット、各階合計8ユニットで構成されている。各ユニットは接道する北側にそれぞれ共同生活室を設け、南側には各ユニットから裏動線と利用できる管理諸室や浴室などの共用エリアを設けている。

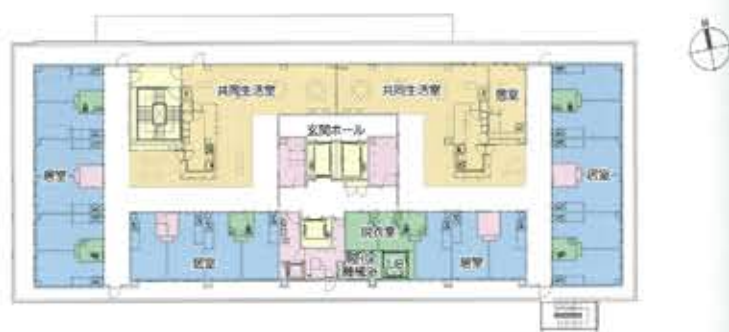
(松永康宏 / ラフト)



左上・右上/エントランスホール 右中/1階地域交流室 左下/風除室 中下/1階美容室 右下/1階機械浴室



1階ショートステイ共同生活室



2-5階平面図

デザイン主旨

デザイン計画は、プランニングワーク松井氏による「SUPERIOR MODERN RESORT」をコンセプトテーマに、エントランスはモノトーン調のペース空間に、ポイントカラーで清潔で上質なラグジュアリーモダン空間を演出する計画としている。住居エリアは明るく優しい色調の中にアクセントとなるカラー家具を配し、入居者やその家族がゆっくりとくつろいで過ごせる空間を目指した。



配置・1階平面図 縮尺1/500



上/共同生活室キッチン回り 左中/エレベーターホール 右中/共同生活室 左下/庭サイン 右下/入居者用居室

特別介護老人ホーム せいらょう上甲子園 データ

所在地 兵庫県西宮市上甲子園5-5-5
 主要用途 特別介護老人ホーム
 建築主 社会福祉法人 聖隷福祉会
 設計・監理 ラフト
 担当/総括: 松永康宏 建築・監理: 谷口友佳子
 構造: 上野隆一
 電気 Y2設備設計 担当/山本義明
 設備 オフィスamal 担当/東尾裕司
 デザイン監修 プランニングワーク 担当/松井友樹
 施工 春名建設
 担当/赤井 満
 [建築概要]
 敷地面積 1,713.20㎡
 建築面積 983.09㎡
 延床面積 4,345.04㎡
 構造規模 5造 地上5階



松永 康宏……まつなが やすひろ
 京都生まれ。京都建築大学卒業後、エムズスペース、マニエラ建築設計事務所、プランテック、ケイ・アイ・エスを経て、2015年にラフトを設立。現在、同社代表取締役



松井 友樹……まつい ともき
 愛媛県生まれ。関西大学工学部建築学科卒業後、赤松野建築設計事務所を経て、プランニングワークを設立。現在、同社取締役

寸法 最高高さ/17.65m 軒高/16.92m 階高/1階3.7m、2~5階3.3m 天井高さ/2.6m、2.4m 主なスパン/6.0m×6.0m
 地域地区 工業地域
 設計期間 2022年4月~2022年8月
 工事期間 2023年2月~2024年1月
 [施設概要]
 利用人数 90名
 居室種類 1人部屋90室、部屋面積13㎡
 [設備概要]
 電気設備 受電方式/高圧受電(3φ3W6,600V60Hz) 予備電源/屋外型ディーゼルエンジン発電機47kVA/37.6kW
 空調設備 空調方式/空冷HP方式(共用部)、ルームエアコン(入居者用個室)
 衛生設備 給水/受水槽方式 給湯/中央式(ガスマルチ給湯器)、一部電気温水器 排水/公共下水(汚水・雑排水合流方式)

施工計画

本建物が位置する西宮市は、臨海部に瀬五郷と呼ばれる日本酒の酒造地帯が存在し、西宮の水「宮水」と呼ばれる地下水が分布している。本建物は「宮水」地域より道路1本隔てた土地であるが、地下水に対する懸念があった。そのため、鋼矢板工法にて土留め・止水し掘削を開始したが、掘削底より湧水が発生し基礎躯体工事中は水との戦いであった。本体構造は鉄骨造だが、周囲にあるベランダ部分はRC造である。当初、PCでの計画であったが建物の北南東面は敷地に余裕がなく、西面からしか揚重ができなかったため、PCでの施工は断念した。また、現場打ちの施工のため下階の床を打設しないと上階の床の施工ができない。そうすると躯体工事に時間をとられ、仕上げ工事の期間が確保できない恐れがあった。そのため外部足場を補強し、床の型枠を一時的にあずけることによって、下階のコンクリートを打設しなくても上階の仕事を進められるように計画した。その結果、マスター工程より前倒しで躯体工事を完了することができた。内装については多くのサンプルを集め設計監理者、内装監理者と打合せを重ね施工を行った。その成果もあり、内外装とも品質の良い仕上がりとなった。施設利用者だけではなく、地域の方々にも愛される本建物の施工に携わったことを嬉しく思う。

(赤井 満/春名建設)



赤井 満……あかい みつる
 1977年兵庫県生まれ。2007年春名建設入社。現在、同社建築本部工事部長

防災設備 消火/スプリンクラー設備、補助散水設備、連絡送水管設備、消火器 排煙/自然排煙
 昇降機 乗台用15人乗、乗台用11人乗、乗用13人乗
 特殊設備 光触媒式空気清浄装置(共用部)、給水用浄水装置(全館用)
 [主な外部仕上げ]
 屋根 アスファルト葺防水(露出断熱仕様)
 外壁 石調タイル貼、黒磨タイル貼、複層塗材E一部光触媒コーティング
 建具 アルミサッシ
 外構 アスファルト舗装、一部芝貼
 [主な内部仕上げ]
 共用部 床/磁器質タイル、電ビタイル、長尺塩ビシート 壁/磁器質タイル、ビニルクロス 天井/ビニルクロス
 入居者用個室 床/木目調塩ビタイル 壁/ビニルクロス、エコカラット 天井/珪藻土塗装

撮影/株式会社500G 松井 泰佑

協力会社

電気設備工事	太 昭 電 設
給排水設備工事	信 光
アルミ製建具工事	Y K K A P
鋼製建具工事	三和シャッター工業